

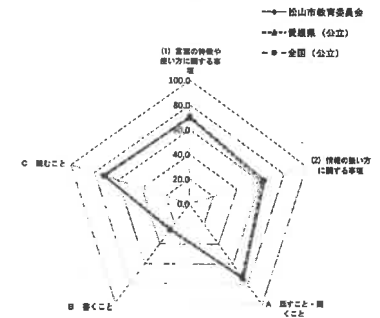
・以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)
		4,247	10,697	964,177

分類	区分	対象児童数(問)	平均正答率(%)			
			松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	
全体		14	68	67	67.2	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	5	70.3	69.7	71.2
		(2) 情報の扱い方に關する事項	2	63.8	61.2	63.4
		(3) 我が国の言語文化に關する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	75.6	73.9	72.6
		B 書くこと	1	26.5	25.1	26.7
		C 読むこと	3	73.3	71.4	71.2
評価の観点	知識・技能	7	68.5	67.2	68.9	
	思考・判断・表現	7	67.6	65.9	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	73.9	72.5	73.6	
	短答式	2	62.3	60.7	62.7	
	記述式	3	54.1	52.5	51.1	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



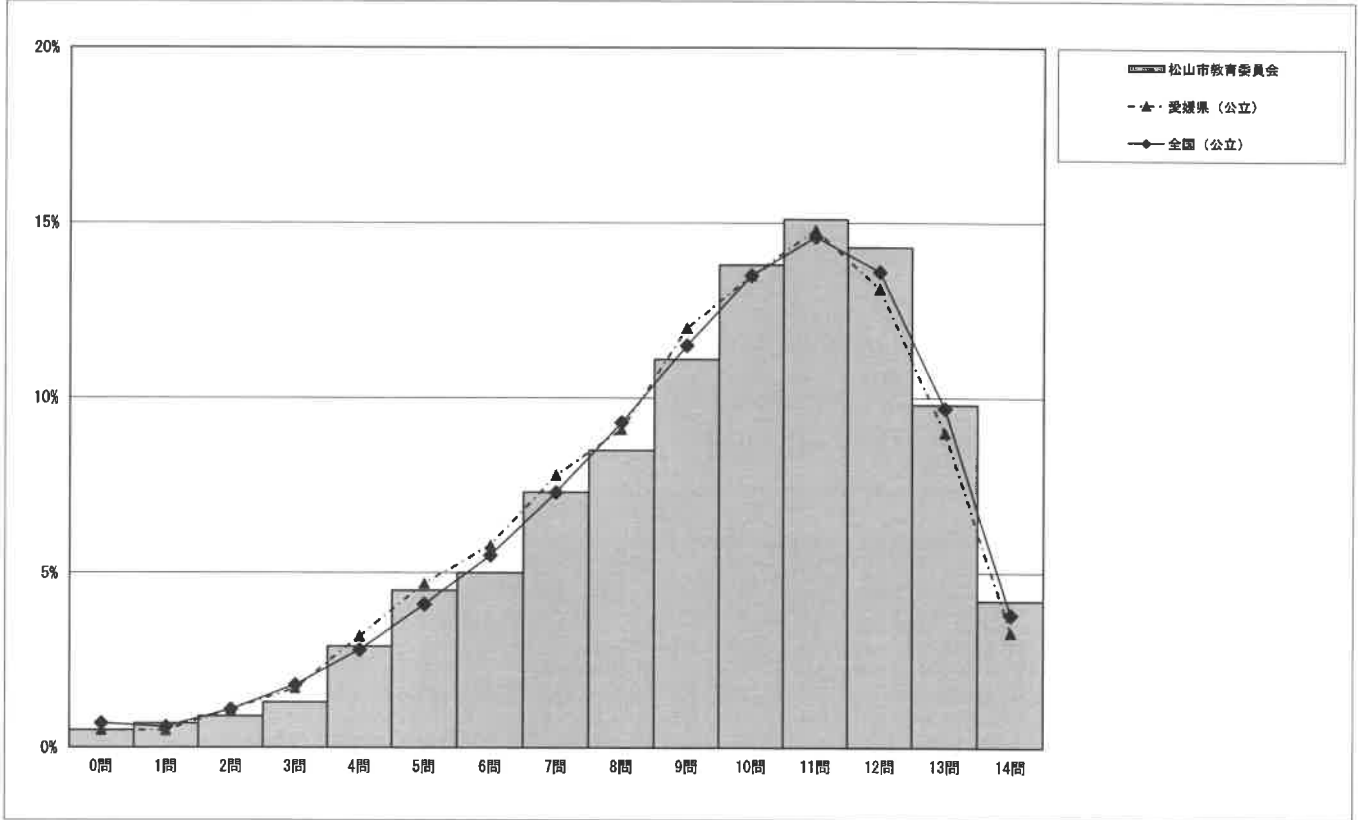
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			全国との差	
			(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	(2) 情報の扱い方に關する事項	(3) 我が国の言語文化に關する事項			A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	松山市教育委員会	愛媛県(公立)
1-1	※作りのときに記述していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	6-8 7			○	○	63.9	61.7	64.7	2.8	1.7	1.8	-0.8	-1.0
1-2	【川村さんの文章】の空欄に学校の条件の問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				○	○	26.5	25.1	26.7	4.3	5.1	7.1	-0.2	2.8
1-3 (1) ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(140字)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる	6-8 エ			○	○	56.3	54.6	52.8	2.4	2.7	4.8	3.5	2.4
1-3 (1) ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す(200字)		6-8 エ			○	○	68.2	66.8	72.6	5.2	4.9	6.7	-4.4	1.5
1-3 (2) イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものとして適切なものを選択する(くまぐま)	送り仮名に注意して、漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる	6-8 ウ			○	○	91.4	92.0	93.1	0.9	0.8	1.0	-1.7	0.1
1-4	【川村さんの文章】の特徴の根拠として適切なものを選択する	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる	6-8 カ			○	○	78.5	78.0	79.8	2.2	1.7	2.0	-1.3	-0.2
2-1	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を把握して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる			3-4 ウ	○	○	90.8	90.1	90.0	1.2	0.9	1.2	0.8	0.0
2-2	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる			6-8 ツ	○	○	69.1	66.9	67.4	1.3	1.0	1.4	1.7	0.1
2-3	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	6-8 イ			○	○	63.8	60.7	62.0	1.4	1.1	1.6	1.8	0.2
2-4	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			6-8 ホ	○	○	60.0	67.4	66.2	4.8	5.6	8.5	3.8	3.7
3-1 (1)	【インタビューの様子】の傍線部ア(～ということだと思いましたが、合っていますか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる			3-4 ニ	○	○	75.7	73.6	73.6	2.6	2.2	3.7	2.1	1.1
3-1 (2)	【インタビューの様子】の傍線部イ(～というのは、どのような姿ですか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する				3-4 ニ	○	○	75.0	72.8	74.0	2.8	2.4	4.1	1.0	1.3
3-2	寺田さんと山本さんが、どのような思いでポラティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			6-8 ニ	○	○	75.7	75.2	70.2	8.8	9.0	14.3	5.5	5.5
3-3	敬語の使い方をまとめた【谷さんのメモの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	6-8 ホ			○	○	57.1	57.0	57.6	7.4	6.5	3.5	-0.5	2.1

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	4,247	9.5 / 14	68	10.0	2.9
愛媛県(公立)	10,697	9.3 / 14	67	10.0	2.9
全国(公立)	964,177	9.4 / 14	67.2	10.0	2.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



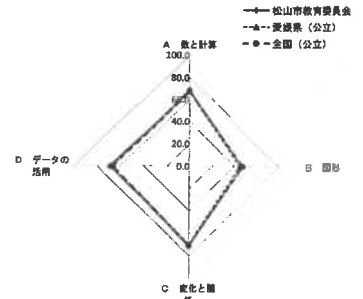
以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	
		4,249	10,700	964,350	
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)
全体		16	64	62	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	69.2	67.5	67.3
	B 図形	4	47.8	45.5	46.3
	C 測定	0			
	C 変化和関係	4	71.8	69.9	70.9
評価の観点	D データの活用	2	68.2	66.5	66.5
	知識・技能	9	68.2	66.4	67.2
	思考・判断・表現	7	58.3	56.1	56.5
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	0			
	選択式	5	57.5	55.2	57.7
	短答式	7	75.5	74.3	74.7
	記述式	4	51.3	48.5	47.3

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



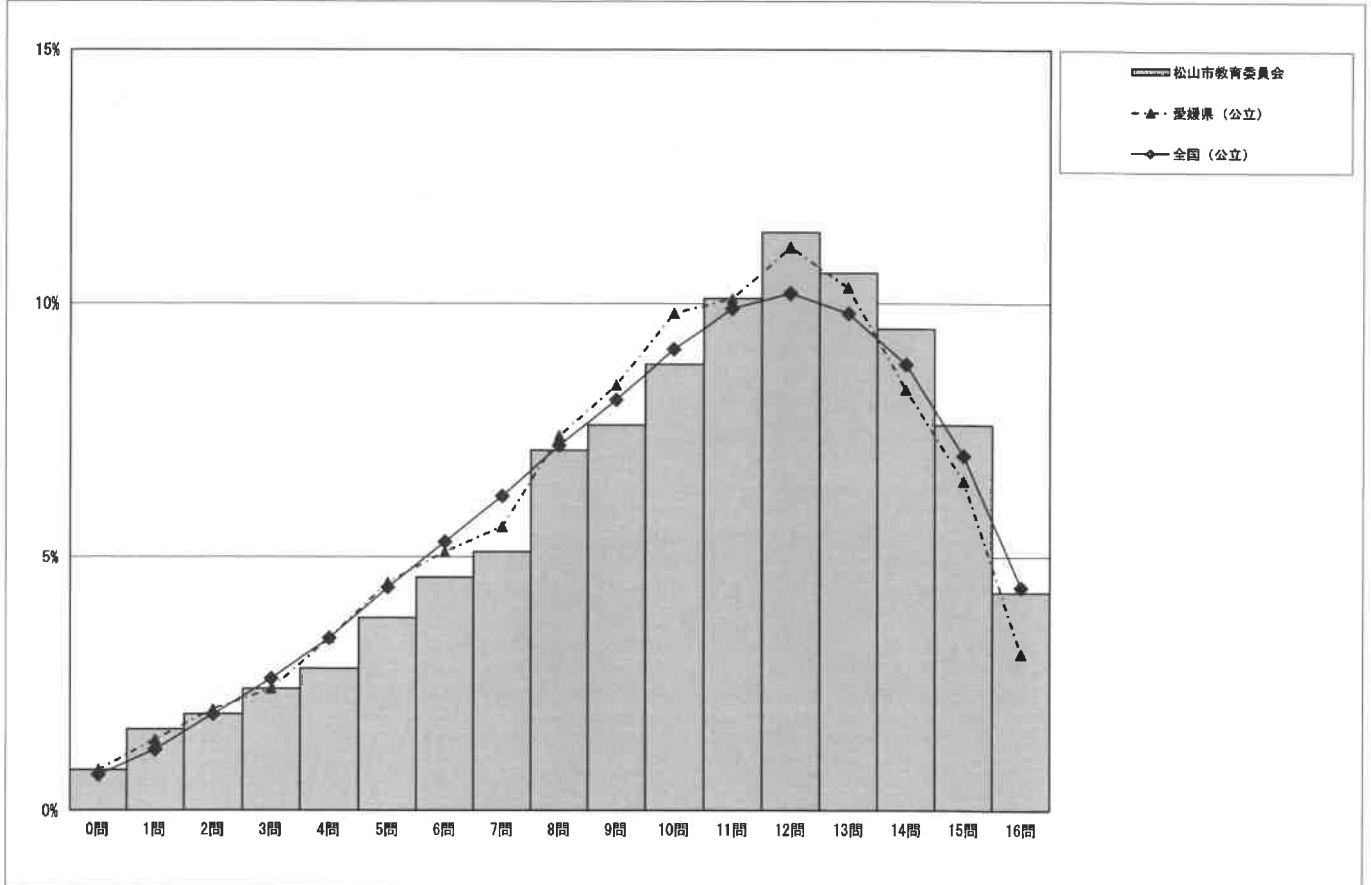
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			全国との差	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化和関係	D データの活用			松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	正答率(プラスが良い)	無解答率(プラスが良い)
1(1)	5脚の椅子を置いたときの高さを求める	作って変わる二つの数量について、差から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる				4(1) 7(2)	○		○	94.5	93.8	93.5	0.6	0.6	0.8	1.0	0.2
1(2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の表を使って書く	作って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる				5(1) 4(2)	○		○	88.0	87.2	88.5	0.4	0.5	1.0	-0.5	0.6
1(3)	椅子4脚の重さが7kgであることと、48脚の重さの求め方と答えを書く	作って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる				5(1) 7(2) 6(3) 4(7)	○		○	58.9	56.6	55.5	2.3	2.4	3.4	3.4	1.1
1(4)	全部の椅子の高さを求めるために、50×40を計算する	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる				3(3) 7(7)	○		○	84.3	83.3	80.8	0.8	0.8	1.2	3.5	0.4
2(1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる				4(1) 7(4)	○		○	60.6	58.2	59.8	0.7	0.5	0.7	0.8	0.0
2(2)	テープを折ったり切ったりしてきた四角形の名前を書く	正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる				2(1) 7(4) 4(3) 7(7)	○		○	84.8	84.6	87.2	2.0	2.1	2.9	-2.4	0.8
2(3)	切った開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる				3(1) 7(2) 5(3) 7(4)	○		○	23.6	20.4	24.9	2.6	2.6	3.7	-1.3	1.1
2(4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分けることを選び、選んだだけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係や面積の大小を判断し、その理由を言葉や式を用いて記述できるかどうかをみる				5(3) 7(7)	○		○	22.2	18.7	20.8	3.3	2.9	4.0	1.4	0.7
3(1)	2種類の辞書を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる				4(8) 7(9)	○		○	71.4	69.6	70.3	1.1	1.0	1.4	1.1	0.8
3(2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる				3(6) 7(4) 4(3) 7(2) 4(7)	○		○	63.1	59.3	56.7	2.9	2.8	4.0	6.4	1.1
3(3)	(151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる				4(8) 7(2) 4(3) 7(7)	○		○	76.5	75.2	72.4	2.1	1.9	2.5	4.1	0.4
3(4)	66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えるとすることができるかどうかをみる				3(4) 4(7) 4(3) 7(7)	○		○	43.2	42.0	47.6	2.8	2.8	3.9	-4.4	1.1
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる				5(3) 7(4)	○		○	46.0	41.8	46.0	2.0	1.9	2.4	0.0	0.4
4(2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる				4(4) 7(4)	○		○	76.9	75.6	75.7	3.6	3.5	4.3	1.2	0.7
4(3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分けることを書く	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる				3(3) 7(2) 7(9)	○		○	61.2	59.3	56.2	9.3	9.6	13.8	5.0	4.5
4(4)	二次元の表から、読み取ったことと相換となる数の組み合わせを選ぶ	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる				4(1) 7(7)	○		○	66.3	64.7	64.6	4.0	3.8	4.9	1.7	0.8

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	4,249	10.2 / 16	64	11.0	3.8
愛媛県 (公立)	10,700	9.9 / 16	62	10.0	3.7
全国 (公立)	964,350	10.0 / 16	62.5	11.0	3.8

正答数分布グラフ (横軸: 正答数 縦軸: 割合)



以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

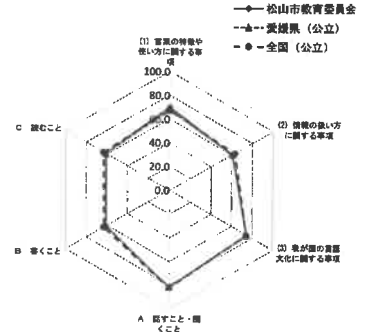
集計結果

対象生徒数		松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)
		3,540	9,894	892,738

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)			
			松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	
全体			69	69	69.8	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	2	70.7	68.3	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	60.8	61.2	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	74.8	75.3	74.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	81.5	81.6	82.2
		B 書くこと	2	61.2	60.9	63.2
		C 読むこと	4	61.4	61.3	63.7
評価の観点	知識・技能	7	69.7	69.3	69.4	
	思考・判断・表現	9	68.1	68.0	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	7	72.0	71.6	73.1	
	短答式	4	67.3	65.9	65.6	
	記述式	4	65.3	66.2	68.0	

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



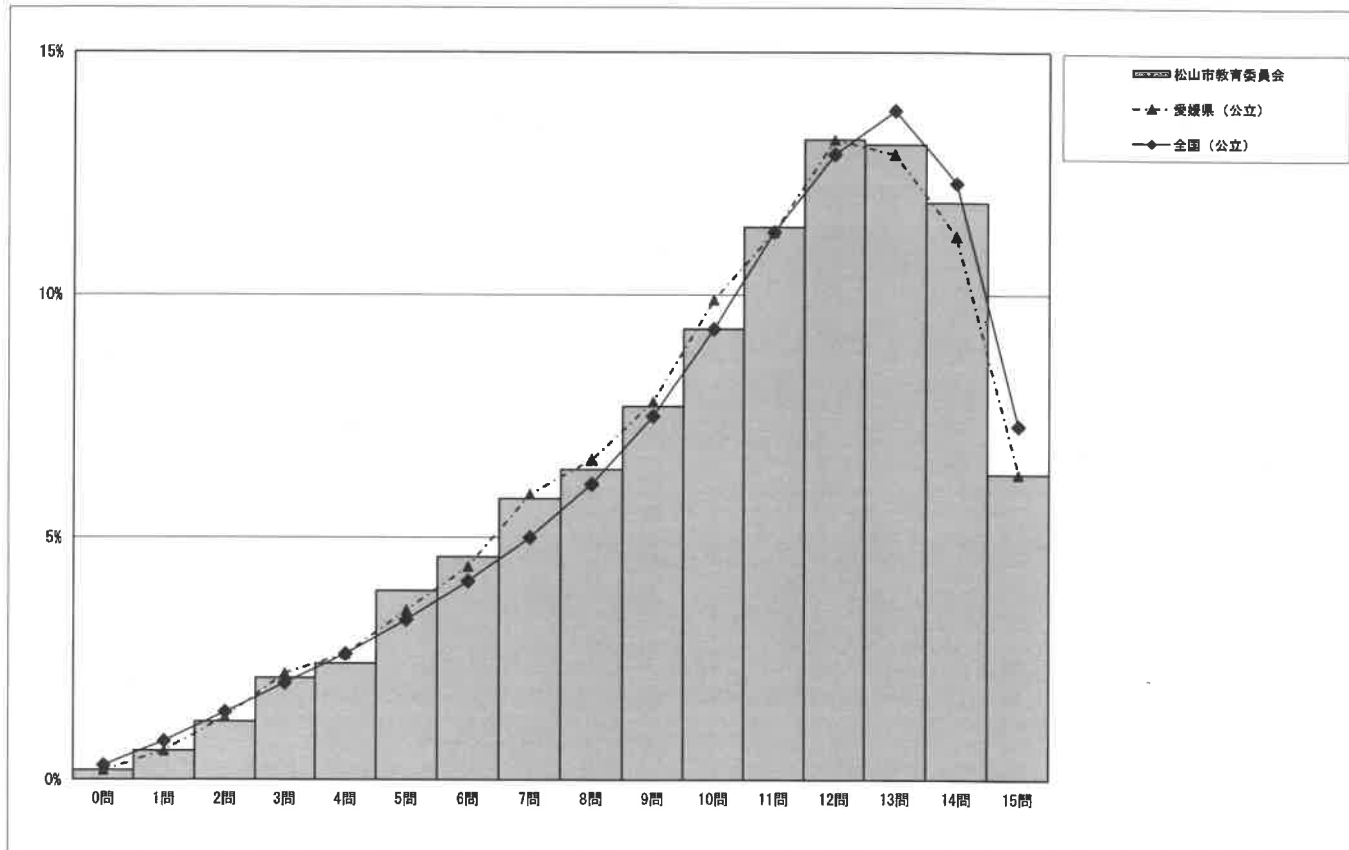
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率(%)			解答率(%)			全国との差				
			知識及び技能					A	B	C	松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	正答率(プラスが良)	解答率(プラスが良)
			(1)	(2)	(3)													
1-1	インタビューの前に準備したメモについて説明したものと適切なものを選択する	目的や場面にに応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる			1 ア	○	○	86.6	86.9	87.5	0.1	0.1	0.1	-0.6	0.0			
1-2	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1 ア		○	○	61.4	63.1	65.1	0.1	0.1	0.2	-3.7	0.1			
1-3	相手の話を聞いて発した質問について、述べた工夫とその意図を説明したものと適切なものを選択する	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる			1 エ	○	○	75.8	75.7	76.6	0.2	0.3	0.2	-0.8	0.0			
1-4	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			1 エ	○	○	82.1	82.4	82.5	10.6	10.5	10.8	-0.4	0.2			
2-1	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を述べた語句について理解しているかどうかをみる	1 ウ			○	○	91.5	91.1	91.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.1			
2-2	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものと適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる			2 エ	○	○	61.7	59.8	63.0	0.6	0.5	0.4	-1.3	-0.2			
2-3	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉え、主旨を把握することができるかどうかをみる			1 ア	○	○	73.9	72.8	74.2	0.3	0.2	0.3	-0.3	0.0			
2-4	自分がこれからのように本を読みたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる		2 エ		○	○	65.4	67.1	67.5	3.5	3.5	3.9	-2.1	0.4			
3-1	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる			1 エ	○	○	53.3	52.0	54.3	0.7	0.6	0.6	-1	-0.1			
3-2	漢字を書く(益し量って)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2 ウ			○	○	50.0	45.6	43.9	9.1	9.4	10.7	6.1	1.6			
3-3	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		2 ア		○	○	60.3	59.3	61.8	1.9	2.0	2.1	-1.5	0.2			
3-4	「『判じ絵』の解題の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解題の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる			1 ウ	○	○	69.1	69.7	72.1	10.9	10.3	10.2	-3	-0.7			
4-1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる		1 ア		○	○	88.9	87.5	82.5	3.6	3.2	3.6	6.4	0.0			
4-2	原文の中の語句に対応する言葉現代語で書かれた文章から抜き出す(いと)	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる		2 イ		○	○	70.1	71.3	74.1	5.4	4.8	4.8	-4	-0.6			
4-3	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる			1 エ	○	○	44.7	45.4	50.0	22.8	21.9	20.7	-5.3	-2.1			

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,540	10.3 / 15	69	11.0	3.3
愛媛県(公立)	9,894	10.3 / 15	69	11.0	3.3
全国(公立)	892,738	10.5 / 15	69.8	11.0	3.4

正答数分布グラフ (横軸: 正答数 縦軸: 割合)



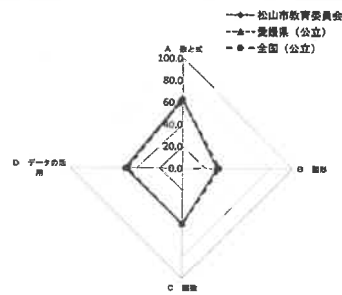
以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)
		3,546	9,893	893,114

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)
全体		15	51	60	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	63.8	62.3	63.0
	B 図形	3	31.0	31.0	33.2
	C 関数	4	50.7	50.2	51.2
	D データの活用	3	51.1	49.9	48.5
評価の観点	知識・技能	10	56.0	55.3	55.7
	思考・判断・表現	5	41.7	40.4	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	46.3	45.2	45.3
	短答式	6	62.4	62.0	62.6
	記述式	5	41.7	40.4	41.6

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



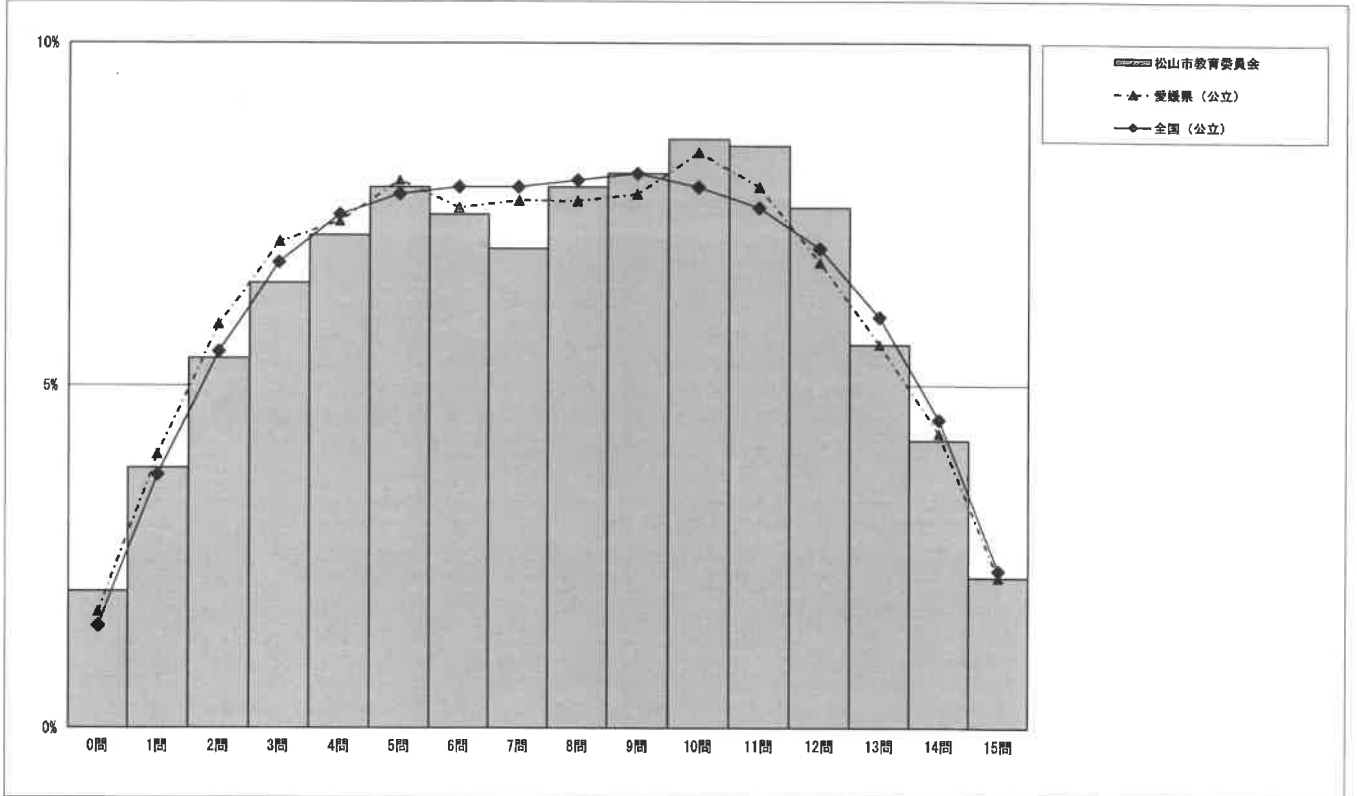
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			全国との差	
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用			松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	正答率(プラスが良い)	無解答率(マイナスが良い)
1	-5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	1/15 7/15				○	○	53.8	49.2	46.1	0.1	0.1	0.1	7.7	0.0
2	12(x/4 + y/6)を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	2/15 7/15				○	○	76.4	76.7	80.5	4.5	4.2	4.0	-4.1	-0.5
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる	1/2 7/15				○	○	29.1	29.3	30.4	0.8	0.7	0.8	-1.3	0.0
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	反比例の意味を理解しているかどうかをみる	1/15 7/15				○	○	39.8	40.7	42.8	0.6	0.5	0.5	-3	-0.1
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.0秒以上30.0秒未満の階級までの累積階級数を求める	累積階級数の意味を理解しているかどうかをみる	1/15 7/15				○	○	43.8	45.9	46.1	10.4	9.5	11.0	-2.3	0.6
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が9のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	1/15 7/15				○	○	88.4	88.2	88.9	2.8	2.5	2.4	-0.5	-0.4
6(2)	はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成させる	目的に応じて式を变形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2/15 7/15				○	○	59.6	58.0	58.8	10.7	10.2	10.6	0.8	-0.1
6(3)	はじめの数にかける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見いだし、説明することができるかどうかをみる	2/15 7/15				○	○	40.9	39.4	40.9	24.7	24.5	24.7	0	0.0
7(1)	1961年~1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる	1/15 7/15				○	○	75.7	71.7	65.7	3.9	4.5	5.6	10	1.7
7(2)	「2006年~2020年の休業日は、1981年~2005年の休業日より遅くはなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に注目して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	1/15 7/15				○	○	33.7	32.0	33.6	21.4	21.9	22.8	0.1	1.4
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる	2/15 7/15				○	○	56.4	55.4	57.5	8.3	8.2	8.6	-1.1	0.3
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていることの意味となる事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる	2/15 7/15				○	○	62.5	61.4	61.7	0.9	0.9	1.1	0.8	0.2
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区間のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる	2/15 7/15				○	○	44.2	43.3	42.8	12.4	11.8	13.2	1.4	0.8
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	2/15 7/15				○	○	30.1	29.5	32.1	27.3	26.1	24.7	-2	-2.8
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる	2/15 7/15				○	○	33.9	34.3	37.0	11.8	13.1	14.2	-3.1	2.4

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,546	7.7 / 15	51	8.0	3.9
愛媛県(公立)	9,893	7.6 / 15	50	8.0	3.9
全国(公立)	893,114	7.6 / 15	51.0	8.0	3.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)

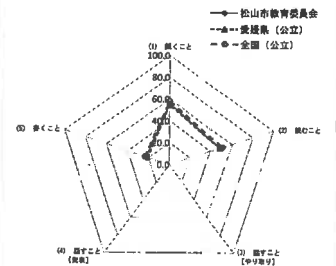


以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	
		3,551	9,894	893,528	
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)
全体		17	44	43	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	4	56.0	54.6	58.4
	(2) 読むこと	6	48.9	48.9	51.2
	(3) 話すこと【やり取り】	0			
	(4) 話すこと【発表】	0			
	(5) 書くこと	5	22.2	20.7	23.4
評価の観点	知識・技能	9	50.1	48.5	51.5
	思考・判断・表現	8	36.2	36.0	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	52.5	51.8	54.8
	短答式	3	29.4	26.8	30.1
	記述式	2	11.3	11.5	13.5

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			全国との差	
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと【やり取り】	(4) 話すこと【発表】	(5) 書くこと			松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	松山市教育委員会	愛媛県(公立)	全国(公立)	正答率(プラスが良い)	無解答率(プラスが良い)
1 (1)	ある状況を描写する英語を読み、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○	○	○	○	○	○	77.8	75.5	79.0	0.1	0.1	0.1	-1.2	0.0	
1 (2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○	○	○	○	○	○	64.7	61.9	64.4	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	
1 (3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○	○	○	○	○	○	45.2	44.6	49.8	0.1	0.1	0.2	-4.8	0.1	
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	日常的な話題について、目的に応じて英語を読み、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	△					○	57.0	55.4	61.1	0.1	0.1	0.2	-4.1	0.1	
3	バーベキューパーティーについての説明を読み、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況から判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	△					○	37.6	37.3	41.2	0.3	0.2	0.2	-3.6	-0.1	
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	△					○	53.9	53.0	54.8	0.4	0.3	0.4	-0.8	0.0	
5 (1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○	○	○	○	○	○	55.3	54.7	56.0	0.2	0.2	0.3	-0.7	0.1	
5 (2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意見を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる	○	○	○	○	○	○	62.5	62.5	64.5	0.4	0.3	0.3	-2	-0.1	
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況から判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	△					○	30.3	30.8	35.9	0.2	0.2	0.3	-5.6	0.1	
7 (1)	図鑑について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○	○	○	○	○	○	57.1	57.3	59.8	0.3	0.2	0.3	-2.7	0.0	
7 (2)	図鑑について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる	△					○	32.9	33.9	34.7	0.6	0.6	0.7	-1.8	0.1	
8 (1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる	△					○	55.3	54.5	56.1	0.7	0.6	0.8	-0.8	0.1	
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して関心することについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	△					○	16.4	17.2	19.5	27.5	27.3	29.3	-3.1	1.8	
9 (1) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる	△					○	40.8	36.9	40.4	5.1	5.4	6.6	0.4	1.5	
9 (1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる	△					○	17.3	16.7	20.9	10.0	9.9	10.9	-3.6	0.9	
9 (2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる	△					○	30.3	26.8	29.0	23.0	24.1	24.5	1.3	1.5	
10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる	△					○	6.2	5.9	7.4	21.5	20.4	21.4	-1.2	-0.1	

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,551	7.4 / 17	44	7.0	4.0
愛媛県(公立)	9,894	7.2 / 17	43	7.0	4.0
全国(公立)	893,528	7.7 / 17	45.6	7.0	4.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)

